

表31 2016年末わが国の慢性透析療法の現況（所在県別）奈良県

透析施設の現況（施設調査票より）	
対象施設数	46
回収施設数	45
ベッドサイドコンソール台数	1,416
同時透析	1,411
最大収容	4,720

透析従事者数（施設調査票より）							
	医師	看護師	臨床工学技士	栄養士	ケースワーカー	その他	合計
専従	50	336	174	8	6	68	642
兼務	160	55	88	45	30	40	418
合計	210	391	262	53	36	108	1,060

透析患者数（施設調査票より）						
治療方法		通院	入院	合計		
治療方法 単独	血液透析 (HD)	2,127	(66.2)	246	(94.3)	2,373 (68.3)
	血液透析濾過 (HDF)	890	(27.7)	15	(5.7)	905 (26.0)
	血液濾過 (HF)	1	(0.0)	0	(0.0)	1 (0.0)
	血液吸着透析	30	(0.9)	0	(0.0)	30 (0.9)
	在宅血液透析	6	(0.2)	0	(0.0)	6 (0.2)
	腹膜透析 (PD)	115	(3.6)	0	(0.0)	115 (3.3)
HD(F), PDの 併用	週1回のHD(F)等との併用	41	(1.3)	0	(0.0)	41 (1.2)
	週2回のHD(F)等との併用	2	(0.1)	0	(0.0)	2 (0.1)
	週3回のHD(F)等との併用	1	(0.0)	0	(0.0)	1 (0.0)
	上記以外の併用	1	(0.0)	0	(0.0)	1 (0.0)
2016年末透析患者総数				3,475	(100.0)	

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

人口100万対比	2,562.7
2016年末透析患者のうち、夜間透析患者数	175
2016年HD(F)等で新規に透析導入した患者数	427
2016年PDで新規に透析導入した患者数	44
2016年 新規導入患者総数	471
2016年 透析患者死亡数	360

透析歴別患者数（患者調査票より）						
透析歴	男性	女性	合計	記載なし	総計	
2年未満	521 (24.3)	279 (21.7)	800 (23.3)		800	(23.3)
2年～	560 (26.1)	258 (20.0)	818 (23.8)		818	(23.8)
5年～	553 (25.8)	327 (25.4)	880 (25.6)		880	(25.6)
10年～	249 (11.6)	163 (12.7)	412 (12.0)		412	(12.0)
15年～	133 (6.2)	125 (9.7)	258 (7.5)		258	(7.5)
20年～	62 (2.9)	58 (4.5)	120 (3.5)		120	(3.5)
25年～	34 (1.6)	36 (2.8)	70 (2.0)		70	(2.0)
30年～	19 (0.9)	27 (2.1)	46 (1.3)		46	(1.3)
35年～	9 (0.4)	11 (0.9)	20 (0.6)		20	(0.6)
40年～	4 (0.2)	3 (0.2)	7 (0.2)		7	(0.2)
合計	2,144 (100.0)	1,287 (100.0)	3,431 (100.0)		3,431	(100.0)
不明						
記載なし						
総計	2,144	1,287	3,431		3,431	
平均	6.58	8.36	7.25		7.25	
標準偏差	6.91	8.24	7.49		7.49	

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

最長透析歴（患者調査表より）	
最長透析歴	43年3ヶ月